



目的

日本でも広く分布するヒトスジシマカは、デング熱などの感染症（蚊媒介感染症）を媒介します。蚊媒介感染症は、現在日本では大きな流行は発生していませんが、ヒト→蚊→ヒトの感染環を持つことから、海外から来た感染者をきっかけに地域流行する恐れがあります。今回、蚊媒介感染症対策の基礎資料とすることを目的に、太閤山ランドの蚊の発生消長を調査しました。

方法

写真.1 太閤山ランドの調査地点



地点1



地点2

写真.2 CDCトラップ



ドライアイス
(CO₂の発生源)

逆回転する扇風機で、
CO₂に誘われてきた
蚊を吸い込む

採取地点：太閤山ランド敷地内2地点（写真1）

採取期間：2023年5月上旬～10月下旬に月3回（月上旬、中旬、下旬ごろ）の頻度で実施

方法：CDCトラップ（写真2）を前日夜にセットし、次の日の朝回収。後日ルーペで種の判別を行う。

結果と考察

図.1太閤山ランドにおける蚊の捕集状況（2023年）

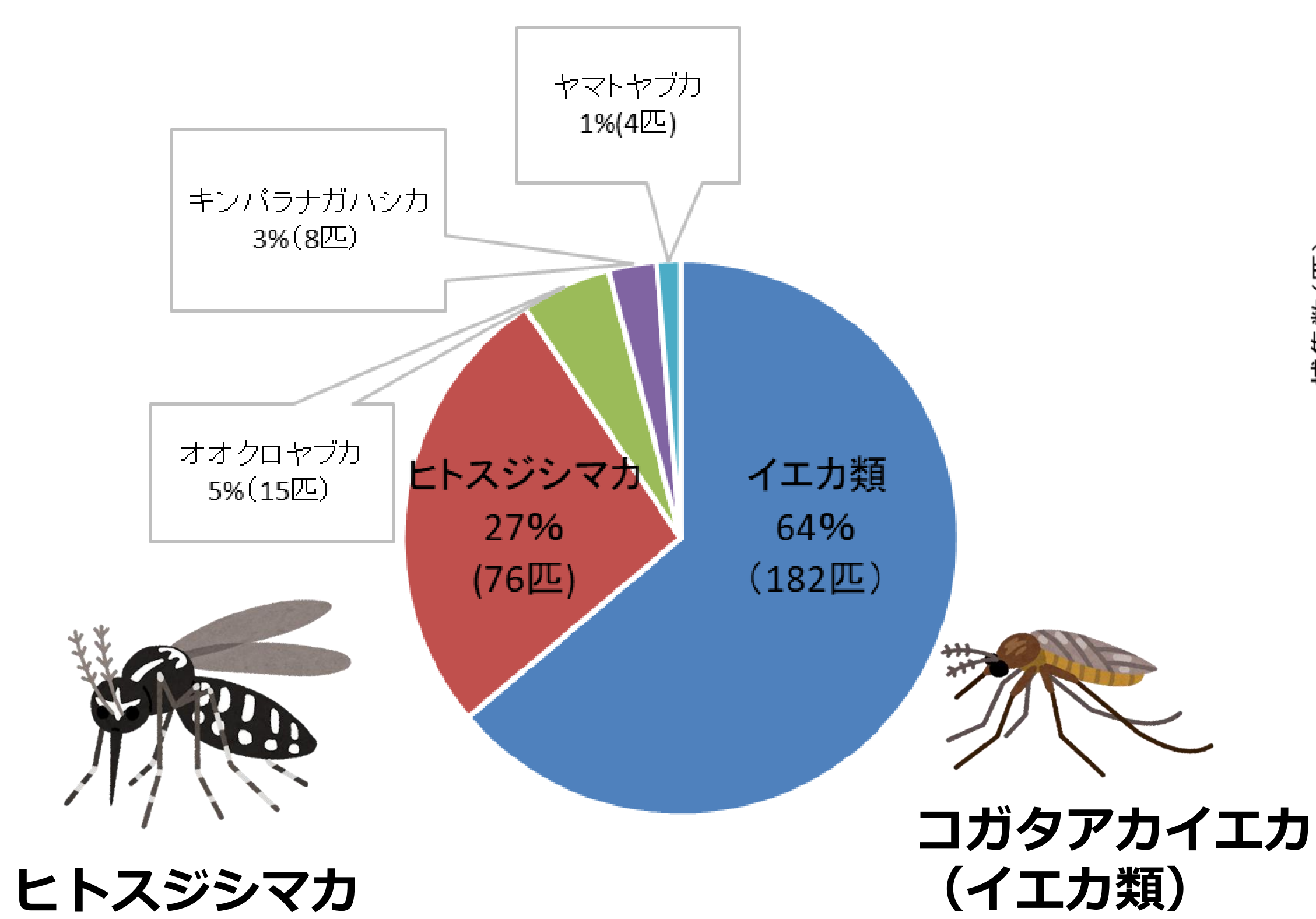
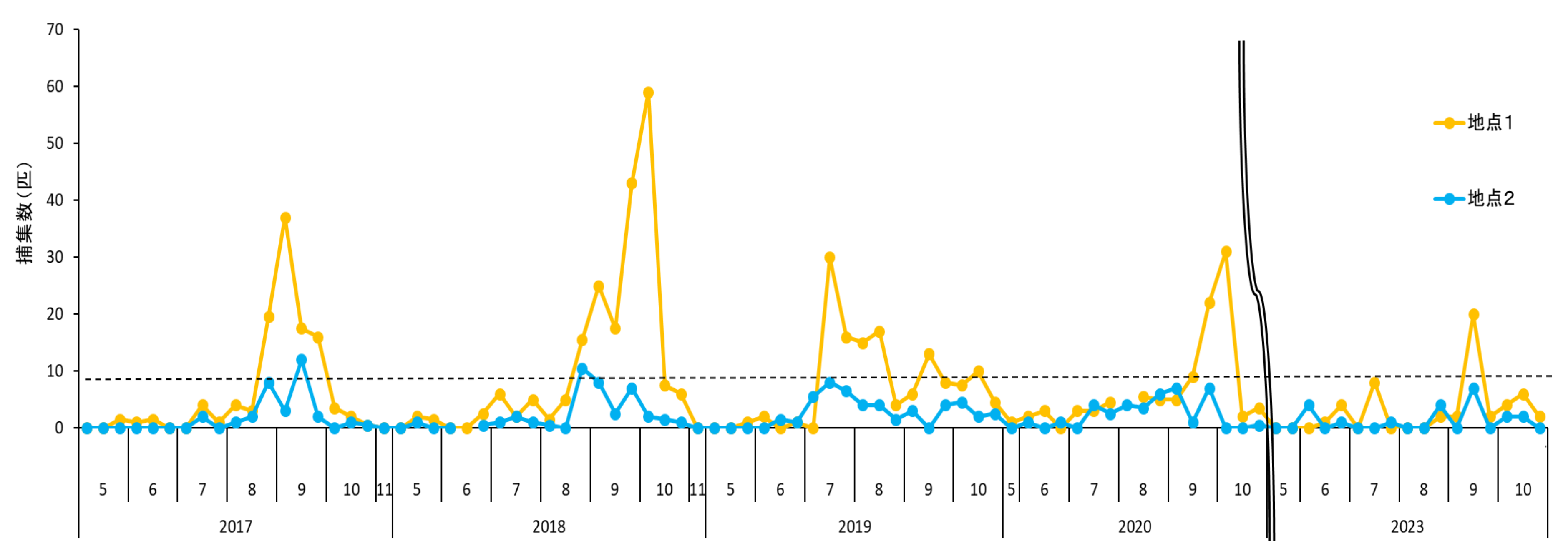


図.2. 太閤山ランドにおけるヒトスジシマカ雌成虫の年次別季節消長（2017～2023年）



グラフ中の水平線（---）は捕集数が多いと判断する目安（10匹）を示した。

・285匹の蚊が捕集され、4属6種（種未同定のイエカ属Culex. spp.を含む）に分類された（図.1）。2023年度のヒトスジシマカの数大きく減少し、捕集割合は過去の調査では50%以上であったのに対し26.7%であった。

・2023年度の捕集数が多くなる時期は9月中旬であり、過去4年（2017年～2020年）と同程度であった（図.2）。しかし、ピーク時の捕集数は過去4年間と比較して最も少なかった

・ヒトスジシマカの捕集数が例年より少なくなった原因として、調査地点周囲の木の伐採などの環境変化が考えられる。また、ヒトスジシマカの場合、降水量と日数が卵の孵化に影響することが知られており、2023年度は過去と比べて降水日数が少なかったことも影響したと考えられる。

謝辞 本調査に毎年ご協力いただいている、（公財）富山県民福祉公園 太閤山ランド公園管理センター に感謝申し上げます。